

関西大学 文部科学省「平成17年度特色ある大学教育支援プログラム」

人間性とキャリア形成を促す学校Internship

—小中高大連携が支える実践型学外教育の大規模展開—

第2回
シンポジウム

「若い世代をともに育てる組織として—
学生の力を活かした小中高大連携の新たな展開」

関西大学の学校Internshipの特色

- 若い力を学校現場へ
- 学生の人間的成長
- キャリアデザインに気づく
- 学生の力を活かした小中高大連携
- ジェネレーションギャップの解消

日時 2007年1月15日(月)

場所 関西大学尚文館
マルチメディアAV大ホール

13:30 開会(開場13:00—)

13:35 挨拶
河田 悌一(関西大学 学長)

13:40 - 14:15 報告
関西大学 学校Internshipの取組
品川 哲彦(取組責任者・関西大学 文学部 教授)

14:15 - 14:45 学生による事例報告

15:00 - 16:30 Symposium
中永 健史(京都市教育委員会 教員養成支援室長)
丸岡 俊之(大阪府教育委員会 教育振興室
高等学校課 主任指導主事)
柚 順子(寝屋川市教育委員会 学校教育部
教育指導課 指導主事)
鵜飼 昌男(神戸市立六甲アイランド高等学校
教諭)

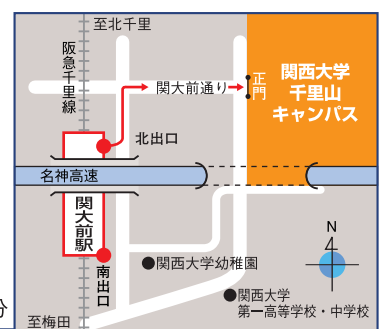
Coordinator: 品川 哲彦

16:35 閉会

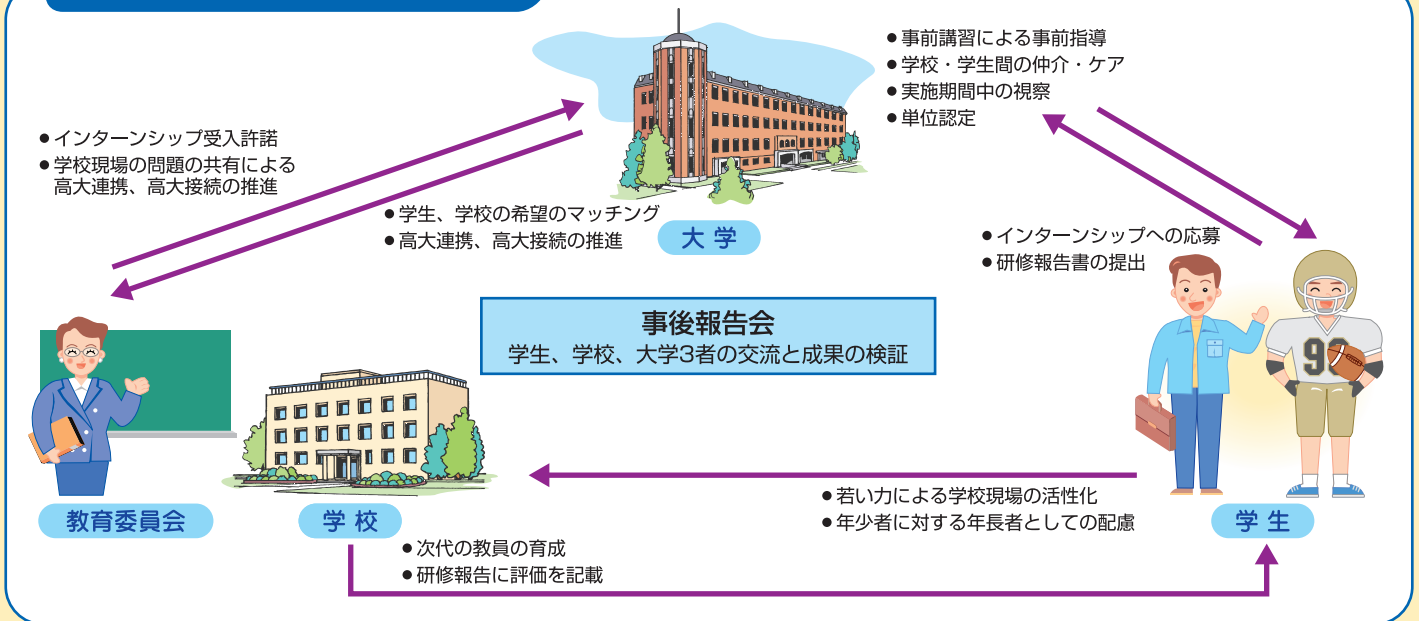
入場無料 ご来場に予約は不要です。

お問い合わせ

関西大学 高大連携事務局
Tel 06(6368)1184
Fax 06(6368)0858
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/gakuinte/index.html>
〒564-8680
吹田市山手町3-3-35
阪急千里線関大前駅下車徒歩6分



関西大学学校Internshipの概要



シンポジウムの趣旨

関西大学の学校インターンシップは、2003年度に始まり、この4年間でべ800名余りの学生が高校、中学校、小学校、幼稚園、養護学校などで教員のさまざまな仕事に接してきました。

関西大学はこの試みを、**学生が年少者と接することで年長者としての責任と自覚にめざめる**大学キャンパスのなかだけでは決して得られない貴重な人間教育の場と捉えております。

学生を受け入れてくださる学校・園、教育委員会からも、大学生が学校現場に入ることによってよい刺激となり、教員にとっても職場をリフレッシュする効果があるという感想をいただいております。

そこで関西大学はこの試みが、**学生の力を活かした小中高大連携の新たな展開に通じるのではないかと**考えました。

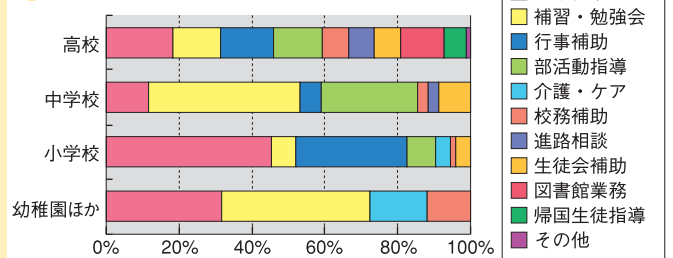
思えば、大学と高校、中・小学校等とともに、**若い世代を育てる使命を共有**しています。しかし、年齢ごとに学生・生徒たちが各学校・園のなかに分断されているように、大学は入試や出張講義のほかには、高校までの学校・園とあまりおつきあいの機会をもちません。学校インターンシップは、**大学生と高校生、中・小学生たちとのあいだの世代をつなぐ効果**をもっています。と同時に、**大学と学校・園とのより太い絆を結ぶ契機**でもあり、関西大学は考えています。

今回のシンポジウムでは、学校インターンシップ＝学生の力を活用した小中高大連携の新たな展開を契機として、**①大学生が小中高の学校現場で活動することでえられる、ジェネレーションギャップの解消、②将来、教職を志望する学生に対して、学校現場、教育委員会はどのような期待を寄せているのか、③小中高とともに**

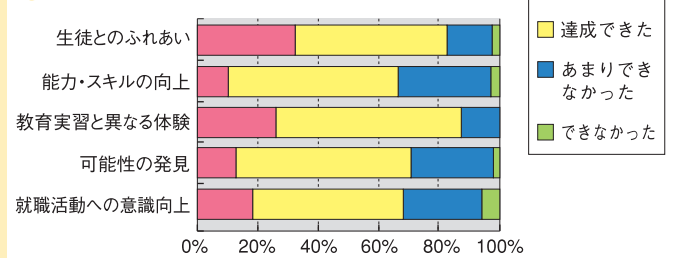
に若い世代をともに育てる組織のひとつとして、大学が果たすべき使命について、教育委員会、学校現場からのご意見、実際に学校インターンシップを体験した学生の報告をまじえて、話し合ってみたいと思います。

学生の人間形成、教員養成、昨今の学校をとりまく問題について関心のあるさまざまな方々のご来場をお待ちしております。

● 学校インターンシップの活動内容



● 学生の目標達成度（自己評価）



● 受入校教員からみた学生の目標達成度

